

豊かで成熟したライフスタイルを提案する

季刊誌

# 「五感の生活」秋号 vol.12

The Mature Life with Five Senses

2024年10月発行



## 特集／

- ・「駿河塗下駄の伝統技法を未来へと繋ぐ」佐野成三郎さん
- ・生活リハビリ「ケアリラクゼーションと個別機能訓練」ハートライフ初生
- ・五感の生活「秋の風物詩」
- ・創立25周年社内イベント「霧ヶ峰・車山登山」





# 静岡の有名人

## Interview

### 佐野成三郎さん

#### 佐野成三郎さんプロフィール

静岡県静岡市葵区出身  
18歳から本格的に下駄づくりを開始。  
駿河塗下駄一筋で70年のキャリアを積む。  
静岡塗下駄工業組合理事長。  
平成16年度、「静岡市伝統工芸技術秀士」として指定を受ける。  
令和元年、厚生労働大臣より現代の名工（卓越した技能者）を受賞。  
現在は、技能マイスターとしてその技術を後世に残すために、展示会や講話を行っている。

## 駿河塗下駄の伝統技法を未来へと繋ぐ

今回は静岡市の伝統工芸品である、駿河塗下駄の伝統的技法を半世紀以上にわたり守り続けてきた佐野成三郎さんにインタビューの機会をいただきました。

#### Q1 駿河塗下駄の 特徴・魅力

駿河塗下駄の特徴は、様々な加飾方法にあります。徳川家康や家光が全国から職人を集めたことで、各地の技術が融合し、新たな技術も生まれました。昭和54年には県から塗り方や材料が指定され、丈夫で剥げにくい下駄を作るようになりました。10年以上長持ちし、どんな服にも合うのが魅力です。長く履くためには、直射日光を避けて保管し、雨に濡れた時は乾いた布で拭くことが大切です。2~3足持って履き替えるとさらに長く使え、底のゴムが減ったら修理が可能です。



#### Q2 駿河塗下駄の 製作工程を教えてください。

まずスケッチブックに絵を描き、それを木地に転写して位置を決めたら、さらに描き足していきます。見えない部分までしっかりと作業を行うため、この工程だけで半年以上かかります。その後、着固めや布着せなどを行い、下地の工程だけでも10段階あり、それが丈夫さに繋がります。絵付けはすべて一点もので、特に龍を描くと少しずつ変わり、同じものはほとんどありません。漆塗りには多くの工程があり、湿度管理が非常に重要です。梅雨時は表面が早く乾いてしまい、冬は乾燥して乾きにくくなるため、適切な湿度が大事です。乾きが不十分だと「沈降」という現象が起こり、やり直しになることもあります。最後に業者に裏貼りをしてもらい、鼻緒をつけて完成です。



#### Q3 下駄一足を 作成する時間を教えてください。

作品によって変わります。お客様には1か月ほどかかると伝えていますが、漆塗の下駄は1年半かかります。漆塗りは今日塗って明日というわけにはいかず、乾かす時間が必要です。50工程以上あるため時間がかかり、作っているうちに凝りだしてさらに時間がかかります。静岡の伝統工芸ですから、力が入ります。





Q4

下駄職人になろうと思ったきっかけと、佐野さんにとって駿河塗下駄はどういった存在か教えてください。

父の影響で始めました。中学卒業後、職業訓練学校に通いながら父を手伝っていました。家族全員で下駄を作っていました。駿河塗下駄は人生の一部で、これまでに茶道具や鎌倉彫も少し手掛けましたが、やっぱり下駄一本です。70年間、駿河塗下駄を作り続け、多くを学び、今も仕事として続けています。

Q5

駿河塗下駄をつくる上で一番大切にしていることはなんですか？

お客様に見た目や履き心地で喜んでもらえる下駄を作ることを大切にしています。特に、デザインをアピールし、下駄を履くことで着ている服をより魅力的に見せることを重視しています。良い履物は着ているものも引き立てますからね。ジーンズやパンツにも合うよう、上質な下駄も作っています。下駄を飾る人が多いようですが、もっと多くの方に履いていただきたいと思っています。

Q6

現在、苦勞していることはありますか？

職人と材料が少なくなっていることが一番困っています。下駄作りに必要な木地屋さんや道具を作る職人が減少しているため、自分で作らなければならない、技術も必要です。道具の作り方や使い方を教えるだけで1年かかり、刃物を研いだり削る技術を持つ人もほとんどいません。職人の技術は一旦途絶えると復活が難しいので、本ではなく手で教えて伝えていきたいです。価値があるものを後世に残したいと考えています。

Q7

今後の展望や目標を教えてください。

明治から始まった150年の伝統を絶やさないようにしたいです。先輩方が築いてきた技術を、できるだけ長く守りたいし、若い人にも伝えていきたいですが、無理強いはいしたくありません。生計を立てるのが難しいですから。それでも、引退は考えておらず、死ぬまで何かを作っていると思います。また、新しい塗り方を生み出したいとも考えています。塗りの世界は広く、まだまだ自分は半人前です。化学変化のような新しい発見がないと新しい塗り方はできないと思いますが、先輩方の技術をまとめ、そこから新しい方法が生まれないか模索しています。



## 駿河塗下駄とは？

明治20年(1887年)に下駄職人である本間久次郎が安価な消耗品である下駄に、漆塗りを施した高級塗下駄を開発したことが始まりです。大正時代には多くの職人が静岡に集まり、圧倒的な生産量と技術力から塗下駄といえば静岡、といわれるまでになりました。艶やかな色彩に何十年も履き続けられるほど丈夫な下駄で、モダンもカジュアルな服装でもこなせる一足です。

対談を終えて

駿河塗下駄職人の佐野さんのインタビューから、職人の情熱と技術の深さを強く感じました。一足一足が1年から2年かけて丁寧に作られ、その美しさは現代の大量生産品とは異なる特別な価値を持っています。龍や鳳凰をモチーフにした豪華なデザインに金箔や銀箔が施されており、駿河塗下駄の高い芸術性を物語っています。また、職人が「履くための下駄」として作っているにもかかわらず、その美しさから飾られることが多いという話には、芸術と実用の両立という工芸品の独自性が感じられます。しかし、職人の減少と技術継承の危機には不安を覚え、次世代への技術継承が急務であると感じました。駿河塗下駄の魅力を広く伝え、この伝統文化が未来へ引き継がれることを心から願っています。佐野さん、貴重なお話をありがとうございました。



# アクタガワの生活リハビリ



ホームページで  
閲覧下さい。

生活リハビリ初生  
デイサービスセンター

ケアリラクゼーションと個別機能訓練  
「脳出血で片麻痺のわたし」

生活リハビリ初生デイサービスセンターでは、お客様の「～したい」を実現する生活リハビリに力を入れています。今回は、脳梗塞の後遺症を抱える中で、当社のサービス「ケアリラクゼーション」や「個別機能訓練」等のリハビリを受けることで、「自身の体験や思いを絵本にしたい」という目標を実現されたお客様について、その絵本の内容と作成経緯についてご紹介いたします。



著者：小杉弥生様

51歳の時、突然脳出血を発症。左半身麻痺と強い硬直、酷い痺れと向き合うことに。絵を書くことが好きな弥生様へケアリラクゼーションセラピストが、絵本製作を提案。出版できるクオリティーを目標に【身体と心に向き合った絵本】の作製に取り組むことになりました。見た目では伝わらない痺れと、共感し合う同世代に仲間がいないもどかしさ、心に蓋をしてきた想いが反映された作品を、ぜひご覧ください。

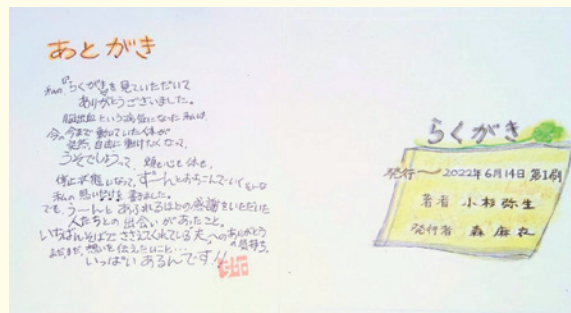
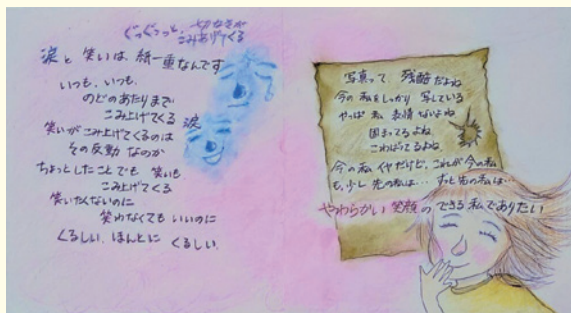
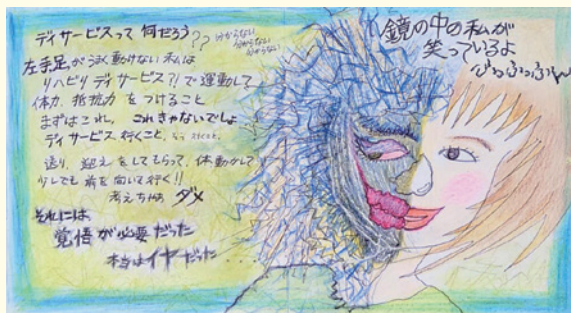
## 著者の願い

51歳の寒い冬の日、脳出血で倒れ左半身が動かない、声を出そうとしてもうまく話せない。車いすに乗せられ鏡に映った自分を見たとき、体は左側に傾き、顔は歪んでいる。一生分の「苦」を味わったような顔…これが現実でした。未来が見えず、恐ろしかった。常に人と比べてしまう自分。周りの視線を感じながら送る生活。この気持ちを同じ境遇の誰かと分かち合いたい。若い時期に片麻痺になる女性は稀だと聞いたが「どこかにいるはず。」そう信じて。この記事が誰かの目に留まり、語り合う友達ができれば…「まだ見ぬ同じ境遇の友と、関わる大切な家族へ」この絵本を捧げます。

## 絵本

「らくがき」

著書 小杉弥生



## 心温まる極上の空間でのケアリラクゼーション

今の私は行動も制限されているだけでなく、心にも制限がかかっている。麻痺の無い人の生活を羨ましく思い、できない自分とどうしても比べてしまう。そんな悲痛な思いを何度も訴えられました。環境を変えることは難しいけれど、仲間探しのお手伝いは出来ないだろうか…?そんな考えから、痺れや硬直と付き合いながら、絵本製作が始まりました。

思った以上に大変な作業でしたが、弥生様の状態を作業療法士と共有しながら進めていきました。始めは、自分の内面を表現することに抵抗を感じ、消極的な弥生様も、誰にこの本を読んでもらいたいかということに焦点を絞ることで、積極的になっていきました。

心地良いアロマオイルの香りと手から伝わる安心感。そしてセラピストとの対話の中で、向き合いたくない深い部分を見つめながら、共に絵本の構成やレイアウトを考え進めていきました。その結果、唯一無二のオリジナル絵本が完成しました。



## 作業療法士による個別機能訓練

体幹を鍛え、傾いてしまう姿勢を改善するという目標をたて、個別機能訓練を開始しました。筋肉の緊張を緩和し、心身ともにリラックスした状態を作ることを大切にし、天候や気温の小さな変化など、その日の状態に合わせたアプローチを行います。目に見える痙縮（筋肉の緊張が異常に高まった状態）や、目に見えない手足の痺れに悩まされている身体面のケアを大切にし、不安を感じる心理面に寄り添い続けています。後遺症による麻痺症状から、自分の見目が気になり、人と積極的に関わることができなくなってしまった。「かわいそうだ」と思われたくなくて、親しい人との付き合いも続けられなくなってしまった。今までできていたことができなくなり、みんなができていることが自分にはできない。その現実を受け入れられず、自分の身体の状態がこれからどうなるのかもわからない不安な日々を抱え続けました。そんな心の葛藤を繰り返しながら過ごした歳月と改めて向き合い、その想いを絵本という形で表現していただきました。同じような思いを抱えた人と出会いたいという切なる願いが、一人でも多くの方に伝わることを心から願っています。



## ケアリラクゼーションセラピストのコメント

「じーじ、じーじ。と、孫は私を通り越して行く。その姿を見るたびに胸が締め付けられるように切なくなる。麻痺がなければ、走ったり抱っこしたり、普通のおばあちゃんのように遊んであげられるのに…家族に嫉妬するなんて、思いもしなかった。」残りの人生楽しく生きたい。このままで終わりたくない。大粒の涙がこぼれ落ちるお姿が、今も目に焼き付いています。完成した絵本をケアマネジャーにご覧いただいた際、「目を潤ませながら読みました。絵本を通じて、より深く分かり合えることができた気がします。麻痺を持つ方々の言葉に出来ない心情が描かれていて、多くの方に読んでいただきたいです。」と、仰ってくださいました。「受け止め難いことがあっても、それでも前に進んでいく。」その想いを胸に、挑戦を続ける希望が実現することを私も願っています。

そして今、二冊目の絵本作成に取り掛かっています。二作目は、お孫さまに読み聞かせができるようなファンタジー作品です。じーじのように遊ぶことはできなくても、ソファで隣同士に座り、温かいココアとクッキーを添えて読み聞かせをする。そんな夢の実現に向けて、これからも心温まるサポートで弥生様に寄り添っていきたいと思います。

アクタガワでは、『生活リハビリ』を通じて、お客様がいつまでも「自分らしい人生」を送れるよう、リハビリ専門職、介護職員、看護職員がチーム一体となって取り組んでいます。「前のように〇〇がしたい」といった具体的なご希望にも寄り添い、お客様一人ひとりの身体的・精神的な状態に合わせ、目標に近づけるようサポートしております。これからも、アクタガワは一人でも多くのお客様の「笑顔」を増やし、心身ともに健康で、幸せな人生を歩んでいただけるよう、全力でサポートしてまいります。

アクタガワの生活リハビリのホームページを上記QRコードより閲覧下さい。【動画あり】





# 五感の生活

## The Mature Life with Five Senses

～豊かで成熟したライフスタイルを提案する～



ホームページで  
閲覧下さい。

春夏秋冬を通じて、視覚・嗅覚・聴覚・味覚・触覚といった五感を刺激する生活の提案を通じて、美しさや喜びを感じ、「今、ここ、この瞬間」をより自由に生きがいのある人生として過ごしていただくことを目指しています。

### 五感に働きかける「秋の風物詩」を紹介します。

特に、秋は「食欲の秋」「運動の秋」として、五感を刺激する瞬間がたくさんあります。暑い夏が終わり、朝夕には爽やかな風が心地よく感じられるこの季節。自然や文化の豊かさを感じる秋の風物詩やレクリエーションをいくつかご紹介します。

実りの季節には、さつまいもや栗、かぼちゃなど  
栄養豊富な秋の食材がたくさん並びます。



金木犀など、心を落ち着かせる  
自然の香りが漂う時期でもあります。



秋

鮮やかな紅葉が広がる光景は、  
秋ならではの視覚的な楽しみです。

暑さが和らぎ、運動会など  
体を動かすには最適な気候です。



アクタガワでは、五感を通じて季節を楽しむために、さまざまな取り組みを行っています。「鑑賞会」や「秋祭り」など、秋の風物を感じられるレクリエーションをとおして、入居者の皆様に五感を刺激し、より豊かで充実した人生を送っていただけるように願っています。

五感の生活のホームページを上記QRコードより閲覧下さい。



## 霧ヶ峰・車山の登山を開催いたしました。

皆様のおかげでアクタガワは25周年を迎えることができました。この記念すべき節目を祝うため、社内では周年イベントが行われています。9月中旬の穏やかな気候の中、長野県の美しい霧ヶ峰・車山にて登山を楽しむ機会を設けました。

山登りは、日常の喧騒から離れ、自然の中でリフレッシュする絶好の機会です。山中で聞こえる鳥のさえずりや風の音は、心を落ち着かせ、リラックスさせてくれます。また、登るごとに変わっていく風景や、頂上に到達したときの達成感は格別です。

アクタガワの経営理念には、「困難に立ち向かい、大きな感動を勝ち取ろう」という行動指針が掲げられています。山登りは体力的にチャレンジングな部分もありますが、その挑戦を乗り越えた先にある喜びは大きなものです。同じ目標に向かって努力することで、普段は別々の場所で働く職員たちが、一致団結する素晴らしい機会となりました。

今回の登山イベントには、各施設から合計60名が参加し、普段はなかなか会うことのない他施設の職員との交流を楽しみました。これまでの周年イベントでは、焼津市の満観峰や静岡市の竜爪山、箱根の金時山、長野県の入笠山など、さまざまな山にチャレンジしてきましたが、今回も素晴らしい景色に心を打たれ、今後の活力となる有意義な時間を過ごしました。

山登りを通じて職員間の絆を深め、その経験を活かし、より質の高いサービスをお客様に提供できるよう、アクタガワグループ全体で取り組んでまいります。





# 会社概要

- 社名 株式会社 アクタガワ
- 設立年月日 1999年6月14日
- 資本金 2,000万円
- 代表取締役 芥川 崇仁



## 事業内容

### ライフケア事業（介護サービス）

- プレミアムハートライフ（介護付有料老人ホーム）
- ハートライフ（サービス付き高齢者向け住宅）
- ハートフルホーム（総合介護サービス）
  - ・訪問介護サービス
  - ・夜間対応型訪問介護サービス（ヘルパー通報サービス）
  - ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護（定額ヘルパー通報サービス）
  - ・通所介護サービス（デイサービス）
  - ・生活リハビリテーション・ロコモーショントレーニング
  - ・小規模多機能型居宅介護
  - ・認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
  - ・居宅介護支援事業
  - ・地域包括支援センター
  - ・在宅介護支援センター
  - ・その他福祉事業
- 脳梗塞リハビリBOT静岡

### ライフサポート事業（介護関連サービス）

- ・福祉用具貸与・販売・住宅改修（ぺんぎん福祉用具サービス）
- ・住まいの110番（暮らしのお困りごと）
- ・シニアのリフォーム

### 子育て事業

- ・ぺんぎん保育園
- ・セノバ保育園



介護事業



介護関連事業



子育て事業



人材紹介・派遣事業

## 事業所

本	店	〒422-8063 静岡市駿河区馬淵一丁目8-1 〒420-0034 静岡市葵区常磐町二丁目13-4 TEL: 054-280-5588 FAX: 054-280-2676 ライフケア事業部 TEL: 054-280-5588 FAX: 054-280-2676
本	社	メディカル・スタッフ事業（株式会社アクタガワHRM） TEL: 054-654-5088 FAX: 054-282-4288 ライフサポート事業部 TEL: 0120-894-888 FAX: 054-270-7010 管理本部（株式会社アクタガワホールディングス） TEL: 054-204-1388 FAX: 054-204-1387
		プレミアムハートライフ大岩 〒420-0886 静岡市葵区大岩一丁目8-14 TEL: 054-200-8300 FAX: 054-200-2808
		プレミアムハートライフ千代田 〒420-0803 静岡市葵区千代田六丁目14-7 TEL: 054-207-8288 FAX: 054-207-8388
		プレミアムハートライフ小鹿公園前 〒422-8021 静岡市駿河区小鹿927-1 TEL: 054-654-5488 FAX: 054-654-2205
		ハートライフ千代田 〒420-0803 静岡市葵区千代田六丁目14-4 TEL: 054-265-1700 FAX: 054-265-1518
		ハートライフ押切 〒424-0008 静岡市清水区押切845-2 TEL: 054-348-1688 FAX: 054-348-1692
		ハートライフ高柳 〒426-0041 藤枝市高柳三丁目29-31 TEL: 054-631-6821 FAX: 054-631-6824
		ハートライフ小石川 〒426-0033 藤枝市小石川町三丁目19-23 TEL: 054-639-5398 FAX: 054-639-5198
		ハートライフ初生 〒433-8112 浜松市中央区初生町720-2 TEL: 053-523-8570 FAX: 053-523-8579
		ハートライフ長泉 〒411-0944 駿東郡長泉町竹原360-1 TEL: 055-971-6388 FAX: 055-971-6360
		ハートフルホーム城北 〒420-0936 静岡市葵区池ヶ谷6-20 TEL: 054-249-1188 FAX: 054-249-1189
		ハートフルホーム西奈 〒420-0916 静岡市葵区瀬名中央一丁目4-3 TEL: 054-655-0588 FAX: 054-655-1388
		ハートフルホーム静岡中央 〒422-8063 静岡県静岡市駿河区馬淵一丁目8-1 TEL: 054-205-1988 FAX: 054-205-1989
		ハートフルホーム小鹿公園前 〒422-8021 静岡市駿河区小鹿927-1 TEL: 054-654-2220 FAX: 054-654-2206
		ハートフルホーム八幡 （小規模多機能型居宅介護事業所・グループホーム） 〒422-8032 静岡市駿河区有東二丁目12-10 TEL: 054-286-8788 FAX: 054-202-5032

		〒422-8032 静岡市駿河区有東二丁目10-10 （生活リハビリ八幡） TEL: 054-204-0688 FAX: 054-204-0689 （居宅介護支援事業所） TEL: 054-284-0540 FAX: 054-204-0689
		ハートフルホーム御門台 〒424-0066 静岡市清水区七ツ新屋二丁目1-28 TEL: 054-349-6880 FAX: 054-349-6881
		ハートフルホーム有東坂 〒424-0873 静岡市清水区有東坂一丁目224-45 TEL: 054-349-3188 FAX: 054-349-3110
		ハートフルホーム清水銀座 〒424-0817 静岡市清水区銀座13-30 パルシティ2F TEL: 054-361-2188 FAX: 054-361-2180
		ハートフルホーム相良 〒421-0526 牧之原市大沢565-1 TEL: 0548-53-1588 FAX: 0548-53-1589
		ハートフルホーム島田東 〒427-0011 島田市東町1394番地 TEL: 0547-54-5575 FAX: 0547-54-5559
		ハートフルホーム藤枝青葉町 〒426-0066 藤枝市青葉町四丁目5-29 TEL: 054-631-7368 FAX: 054-631-7270
		ハートフルホーム厚原 〒419-0201 富士市厚原179-1 TEL: 0545-32-8588 FAX: 0545-32-8887
		ハートフルホーム加島 〒416-0912 富士市加島町8-16 TEL: 0545-32-6866 FAX: 0545-32-6855
		ハートフルホーム開北 〒410-0004 沼津市本田町2-52 TEL: 055-929-1805 FAX: 055-929-2588
		カフェ&リハ静岡千代田 〒420-0801 静岡県静岡市葵区東千代田一丁目7-12 TEL: 054-295-5455 FAX: 054-295-5559
		静岡市駿河区八幡山 地域包括支援センター 〒422-8032 静岡市駿河区有東二丁目12-10 TEL: 054-202-6677 FAX: 054-202-5032
		脳梗塞リハビリBOT静岡 静岡店 〒422-8063 静岡市駿河区馬淵一丁目8-1 TEL: 054-289-6588 FAX: 054-270-7010
		脳梗塞リハビリBOT静岡 富士店 419-0201 静岡県富士市厚原179-1 TEL: 0545-30-6108 FAX: 0545-32-8887
		ぺんぎん福祉用具サービス （福祉用具貸与・販売・住宅改修） 〒422-8063 静岡県静岡市駿河区馬淵一丁目8-1 TEL: 054-269-6306 FAX: 054-270-7010
		ぺんぎん保育園上足洗 〒420-0841 静岡市葵区上足洗三丁目14-39 TEL: 054-294-7188 FAX: 054-294-7288
		ぺんぎん保育園豊田 〒422-8027 静岡市駿河区豊田一丁目1-41 TEL: 054-266-3268 FAX: 054-266-3263
		セノバ保育園 〒420-0839 静岡市葵区鷹匠1-11-11 静鉄鷹匠アネックス2F TEL: 054-255-7575 FAX: 054-266-7050

## 関連会社

- ・株式会社アクタガワホールディングス
- ・株式会社アクタガワHRM
- ・株式会社リージョン・フォース
- ・株式会社ファイブ・センス
- ・株式会社芥川ビル

## SDGsへの取り組み

持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進しています。



ダイバーシティ経営企業認定  
（経済産業省）



女性活躍えるぼし認定  
（厚生労働省）



ISO9001  
認証取得



CSRパートナー企業  
（静岡市）



しずおかランニングパトロール  
（静岡県警）



お問合せはこちら 054-204-1388



アクタガワホームページ

アクタガワ 🔍 検索